

愛知学習センター2020年
第1回 公開講演会



健康長寿社会における 幸せな老いとは

—高齢者心理学からのメッセージ—



講師

国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
老年学・社会科学センター

室長

西田 裕紀子氏

にした ゆきこ

開催日

2020年6月28日(日)

会場

ヤマテホール
(中京大学センタービル2階)

時間

13:30~15:00

定員

100名 **入場無料**

アクセス

地下鉄鶴舞線・名城線「八事駅」下車
⑤番出口(左側)の中京大学センタービルに入り、
案内看板にしたがってお進みください。

※当センターには駐車場がありませんので、
公共交通機関(地下鉄等)をご利用ください。

中京大学センタービル

至いりなか

①番出口



地下鉄
名城線

⑤番出口

八事駅

イオン八事

至金山

三菱UFJ銀行

地下鉄
鶴舞線

至平針



放送大学 愛知学習センター

放送大学は放送大学学園(文部科学省・総務省所轄)によって設置された正規の大学です。

お問い合わせ ☎052-831-1771

〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町101-2中京大学センタービル4階

講師 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
老年学・社会科学研究所センター 室長

西田 裕紀子氏 (にした ゆきこ)

講演内容

サザエさんに登場する「波平さん」の年齢をご存じでしょうか？ 公式ホームページ*によると54歳だそうです。サザエさんの連載が始まったのは1951年、波平さんはその当時の50代のイメージだったのかもしれませんが。しかし今、まわりを見渡してみると、現代の50代は格段に若々しく思えます。この数十年で日本人の平均寿命は大きく伸び、人生後半期が長くなりました。世界的にも例のない長寿社会が到来しています。

一方、誰しも高齢になると、視聴覚機能や運動機能の低下、脳の加齢など、様々な身体的老化に直面します。仕事からの引退や身近な人との死別により、社会的な関係が少なくなることもあります。今回の講演では、そのようにシビアともいえる老いとともにありながら、長寿社会を幸せに過ごすための心のもちようについて、高齢者心理学の理論や知見を紹介しながら考えてみたいと思います。

※<http://www.sazaesan.jp/>

プロフィール

《専門分野》

生涯発達心理学、老年社会科学、疫学

《略歴》

1997年 神戸大学発達科学部卒業。

2003年 名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程単位取得退学。

博士(心理学)。公認心理師。国立長寿医療研究センター疫学研究部リサーチレジデント、流動研究員、NILS-LSA活用研究室研究開発研究員を経て、現在、国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究所センター老化疫学研究部コホート連携推進研究室長。全国の長寿コホート研究と共同し、加齢による心身の変化やその要因を明らかにする研究を行っている。

《著書》

- ・西田裕紀子「老年期」林創(編) 公認心理師スタンダードテキストシリーズ 発達心理学 ミネルヴァ書房 2019年
- ・西田裕紀子「加齢による心理的・社会的変化」一般財団 法人長寿社会開発センター(編) 介護支援専門員基本テキスト8訂 中央法規 2018年
- ・西田裕紀子「認知症の評価・治療：注意機能や実行機能、記憶の検査方法」島田裕之・牧迫飛雄馬(編) 理学療法士のための認知症Q&A 医歯薬出版 2018年
- ・西田裕紀子「成人心理学」太田信夫(監) 二宮克美・渡辺弥生(編) 発達心理学 北大路書房 2017年
- ・西田裕紀子「高齢者の心の健康とクオリティ・オブ・ライフ」伊藤良高・下坂剛(編) 人間の形成と心理のフロンティア 晃洋書房 2017年